

第7回 向陽学府新たな学校づくり検討会 会議概要

1 開催日時 令和3年9月13日(月) 15:00~17:00

2 開催場所 向陽学府内小中学校
千葉大学
磐田市役所西庁舎 3階 303会議室
地域計画建築研究所

※今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上記各会場をインターネットでつなぐ、オンライン会議としました。

3 出席者(向陽学府新たな学校づくり検討委員)

学識経験者 千葉大学大学院工学研究科教授
地区代表 向笠地区長 向笠地区住民代表
大藤地区長 大藤地区住民代表
岩田地区長 岩田地区住民代表
保護者代表 岩田小PTA代表
向笠幼稚園PTA代表
大藤こども園PTA代表
岩田こども園保護者代表
学校・園代表 向陽中学校長 向笠小学校長 大藤小学校長
岩田小学校長 向笠幼稚園長 大藤こども園長
静岡県教育委員会義務教育課指導監

4 出席職員 教育長 教育部長
教育総務課長 学校教育課長 幼稚園保育園課長
高齢者支援課長

5 事務局 学府一体校推進室

議事

まず、基本計画(案)について前回の意見を反映させた修正案を地域計画建築研究所が説明しました。その後、主な必要諸室の考え方、構造・設備の基本方針、ゾーニング配置案について再度検討しました。

(1) 主な必要諸室の考え方に関する意見

校庭・グラウンドについては、「屋内運動場のように体格差や授業を考慮してメインとサブを分けた方がよい」、「文化部にも部室が必要である」、「緊急連絡用に各教室にはインターホンがあった方がよい」などの意見が出されました。

(2) 構造・設備の基本方針に関する意見

防災施設の避難所として利用する場合については、「もう少し具体的な記述が必要」、「様々な機能、コストの観点からどこまでやるか今後議論が必要だ」という意見が出されました。また、学校のバリアフリー化の話の中でスロープやエレベーターの設置に関する意見が出されました。

(3) ゾーニング配置案に関する意見

「古墳ゾーンを小学校低学年の児童が外で遊べるような憩いの空間にしたい」また、門の位置から車と人の動線に関する意見が出されました。

今後は、これまでの検討会の意見を参考にして基本構想、基本計画をまとめていく予定です。